

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 工場への投資の重要性を再考すべき 野路 國夫 (コマツ会長)

1. 現場力というのはいわゆる「匠の世界」だけを重視するのとは違う。熟練の技術を持った日本人の匠がタイ工場の溶接技術者に技を教え込むのは難しい。ところがわれわれの建設機械は、世界中どこで作っても同じ品質。なぜか。作りやすい設計図面があるからだ。設計開発（生産）現場のすり合わせが伴って、初めて現場力だといえる。現場の技術は、「これじゃ機械が泣いている」といった表現で、現場の課題を指摘する。その言葉を、設計・開発の技術者が読み解き、設計図面化することによって、現場力がシステム化される。
2. 欧米の場合、生産関連よりも設計や開発の技術者のほうが給与は高く、3 者が同等の地位とはいいいにくい。一方の日本には、設計から生産までつなぐ、土壌がある。現場の声を吸い上げて、設計図面を細かく作り込むのは、日本が得意とするところだ。この日本の素地をうまく生かしていくには、経営者が現場への投資を決断することが必要である。
3. 日本には古い工場が驚くほど多い。生産設備はともかく、建屋は築 40 年、50 年でも使えてしまう。しかし、実際に古い建屋がどれだけエネルギーを食っているのか。新興国の工場に負けないよう、経営者は投資の重要性を再考すべきだ。  
(参考:「週刊東洋経済」2014 年 3 月 15 日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 人間として誠実に、謙虚に、感謝の気持ちで

#### 小林 哲也 (帝国ホテル会長)

1. 私が長にとって大事だと思えるのは、人間として常に誠実で、謙虚に、感謝の気持ちを持つこと。そしてホテルで働く者としては、素直に、明るく、元気よく。この六つだと思います。とにかくこの六つだけは忘れないようにと社員にも言い続けます。
2. 一番悪いのは、傲慢、驕りです。明治の思想家、内村鑑三が言っています。「興国とは謙のたまものであって、亡国は傲慢の結果である」と。傲慢は個人も潰すし、会社も潰すし、国も潰す、と確信しています。そうならないように、常に社内、また自分自身もウォッチし、決断しながら人を導いていかなければなりません。「かつてこの地にいいホテルがあったそうだね」と昔語りみたいに言われるようなことだけは、決してあってはならない。  
(参考:「致知」:2014 年 6 月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### イノベーションが起こるメカニズム

1. 通常、大災害が起こると、瞬間的には物質的な破壊が起きるが、同時に、非効率な組織や、成長を阻んでいた制度・ネットワークも壊される。様々な社会基盤の新陳代謝を経て、新しい価値観が生まれていく。経済学者ヨーゼフ・シュンペーターはこれを「創造的破壊」と言った。
2. 米スタンフォード大学の星岳雄教授は、「大きな災害の後には新しい制度ができて、成長を手助けする場合もある。東日本大震災は、自然に加え、原発事故という人災も同時に起きた稀有なケース。フクシマではイノベーションが起きにくいという人もいるが、政府や自治体、電力会社への不信感が、結果的に自分たちで何とかしなければいけないという気運の高まりへと転じることで、イノベーションの起因になる可能性がある」と指摘する。  
(参考:「日経ビジネス」2014 年 3 月 10 日号)

## 古典に学ぶ

### 農夫のごとく

(解説) 一国の政治は、農夫を手本として行なうべきである。農夫は、作物の自然を全うさせる。つまり、自然の理に従うのである。自然の理に従うことは、徳を内に深く体することにはほかならない。徳を深く体すればいっさいの不可能は消滅する。不可能が消滅すれば、無窮の境地に到達する。この無窮の境地に到達した者にしてはじめて、国家を保つことが可能になる。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)